

島根県立 矢上高等学校



文化・芸術を視角に、地域へフォーカス

文化芸術部

学校概要

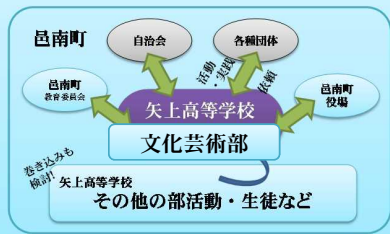
- 全国でもめずらしく、普通科と産業技術科（実業系学科）を併せ持つ。
- 平成24年度より**離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業**に取り組む。
- 平成25年度より町への政策提言を実施。自分たちでテーマを見つけ、実践に結びつける。



校訓
統に覚えのある人間
筋金の通った人間
思いやりのある人間

活動体制

- 平成26年度は美術部が地域系部活動として活動（既存の部活動による地域活動の展開）。
- 平成27年度からは文化系部活動が連携し、地域系部活動「文化芸術部」として活動を実施。
- 毎週水曜日を除く放課後に活動。
- 総勢25名。



平成26年度の活動概要

- 呂南町・呂南町教育委員会と連携した矢上駅の看板制作、呂南町子育てカルタの絵札づくりを実施。
- 聞き取り、フィールドワークを通じて地域の方から受け止めた想いやメッセージを表現。
- そのほか、地域からの要請に応じた活動を展開。他部活動等の巻き込みも狙う。

【主な活動】

- 呂南町子育てカルタ制作。5月下旬、呂南町より依頼を受け、活動に着手。6月以降作業に取り掛かる。7月にはフィールドワーク・インタビューを実施。11月に完成・披露。
- 矢上駅の看板制作。2学期に原案の作成に着手。3学期に完成・お披露目。
- その他依頼・オファーを随時受付。

平成26年度の活動の様子



インタビュー (平成26年8月)

近隣の自治会から依頼を受け、看板を制作

呂南町教育委員会からカルタ絵札を手渡す (平成26年8月)

地域に暮らす方の想い、子育て、未来に伝えたいメッセージを絵で表現

現在、矢上駅の看板をデザイン!! 美術を通じてまちづくり!

平成26年度を振り返って

- 地域の方々の想いや未来への希望を受け止め、考え、表現する基礎・体制、経験値の獲得。
- 今後は、活動規模の拡大をめざし、町教育委員会、自治会、町内施設等に積極的な活動PRを実施。生徒が考える「やってみよう」をサポートし、自主的な企画の立案、実行を目指す。
- 学校行事やその他活動のボリュームも大きい現状。一方ですべての部活動が何らかの地域活動に関わるように、既存の活動の整理や地域活動への巻き込みを図る。

平成27年度の計画・方針

- 1年目は美術部の活動を中心に地域から依頼のあった取り組みを中心に活動。子育てカルタや呂南町の看板作りなどが主な成果。2年目は、美術部、文芸部、茶華道部、写真部などに参加部活動を広げ、未来フォーラムに関わる企画を自主的に具現化するメンバーを加えた自主的な活動団体として呂南町未来PJチーム（仮）とする。主体性と持続性を特に考えた体系的な仕組み作りを力にする。
- 実施メンバーは40名程度。コーディネーターとの連携も強化。

【主な活動】

- 映画塾呂南町 参加を通じてメイキング作成→PR
- 図書館との連携 よみかかせや民話の語りの研修→地域の施設へ出向く予定
- 福祉施設アートPJ 絵や写真を飾ったりものつくりのアクティビティを企画する
- 木育おもちゃプレゼント企画

平成27年度の活動～発展～



映画塾呂南町でのメイキング

県産材の櫛のおもちゃをつくらせてあかちゃんにプレゼントする

呂南町定住促進課でのカンファレンス

図書館で地域とともに活動・民話の朗読 (7月)

紙芝居や読み聞かせ、民話の朗読などで訪問 (福祉施設)

未来フォーラムでのパネル提案

地域系部活動の仕組みづくりについて

映画塾作品上映会

木育おもちゃプレゼント

福祉施設アートプロジェクト

保育園・高齢者施設でのアクティビティ

部員の想い

- 地域の人と様々な交流ができるようになってきて、依頼がたくさん来るようになった。
- 文化芸術部だけでなく運動部に入っている人も部活のないときなどに声をかけあって活動に参加してくれるようになってきた。これから、さらに自主的に、高校生らしいアイデアや企画を提案していきたい。
- 呂南町の良さを島根県外にもひろめていけるようPR活動にも力をいれていきます。



指導者の想い

- 地域からの依頼は祭りの補助、文化祭での展示・発表などいろいろある。多くのイベントとかに参加する意義は大きい。しかし単発的にすべてを受け入れている余裕はない。自分たちのできる範囲内である程度の筋道とストーリーをもったメインの活動を軸に据えてみたい（木育、アクティビティを通しての地域の施設・コミュニティとのつながりなど）。
- 3年生の3月まで進路に絡めた自主的な活動（保育や介護）ができるといい。様々な特技や技能をもった生徒がいるので、地域貢献のチャンスがあることはうれしい。いろいろな部活も含め地域の行事には地域の方々といっしょになって自主的にその地域の生徒が企画運営できるといい。

地域系部活動の促進に向けて keyword: 主体性・波及性・継続性

■文化・芸術を主軸に未来フォーラムを取り込んだ地域デザイン

多くの生徒が主体的に地域の問題に向き合い関われる仕組みづくりが必要。地域系部活動をどう位置づけにしてどんな活動にしていけるかを体系化していく必要がある。文化系の部活動の特性や生徒個人個人の進路や興味関心に合わせてチームのメンバーが部活の枠を超えることも必要だ。学校の教育活動の中での総合学習・地域学習との連動も視野に入れ、課題解決型の企画提案を、未来フォーラム（呂南町への提言）で実践することからはじめ、矢上高校ならではのしくみづくりをじっくり考えていきたい。